

なかがわ

広報

2006. 10



No. 13

●平成17年度決算報告	2
●祝 敬老	5
●町政懇談会より	6
●ユビキタス社会の実現を目指して	10
●ケビンの学校めぐり	13
●北沢の不法投棄の解決に向けて	14

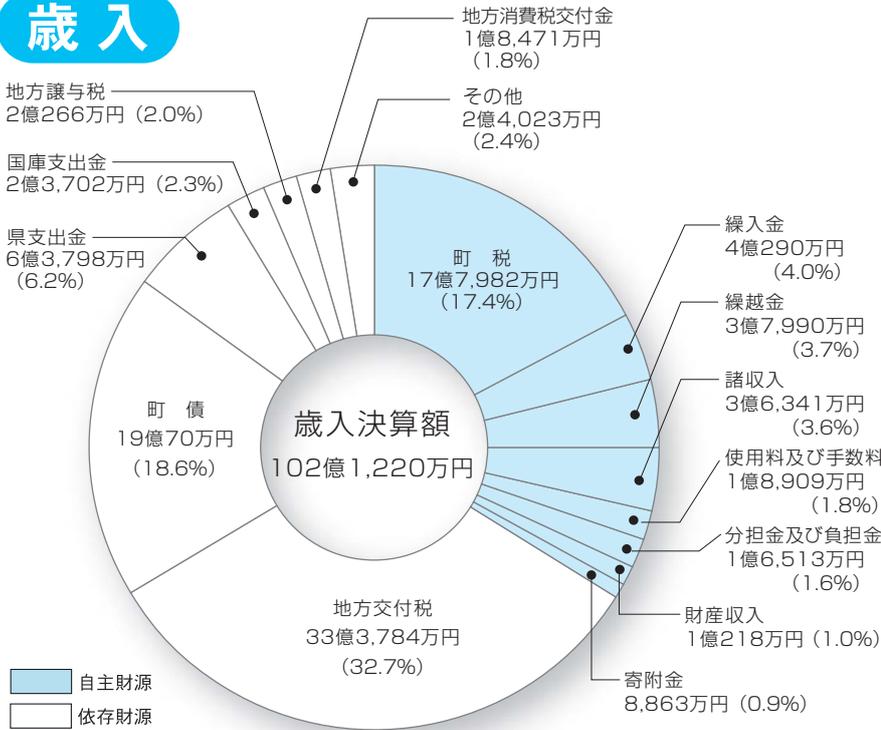


決算報告

一般会計・特別会計が認定に

平成17年度那珂川町の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算が、9月12日から9月21日まで行われた第5回議会定例会で認定されました。

歳入



■ 自主財源
□ 依存財源

今回の決算は、那珂川町（平成17年10月1日から平成18年3月31日までの半年間）の決算です。1月に認定を受けた旧馬頭町と旧小川町（平成17年4月1日から平成17年9月30日までの半年間）の決算を合算して、平成17年度の1年間の決算として公表いたします。

一般会計の決算額は、歳入が102億1,220万3,405円で前年度比6.3%の増、歳出が96億6,663万7,377円で前年度比6.1%の増となり、差引額は5億4,566万6,028円。このうち繰越明許費繰越額89万円を差し引いた実質収支額は、5億4,467万6,028円となりました。

また、6つの特別会計の合計額は歳入が58億4,88万3,500円で、前年度比3.4%の増、歳出は55億4,103万6,317円で前年度比4.1%の増となりました。

水道事業会計では、資本的収入額が資本的支出額に不足する8,428万7,769円は、留保資金等で補てんしました。

特別会計・公営企業会計

会計名	区分			
	歳入注1	歳出注2	差引	
国民健康保険	20億2,075万円	18億4,958万円	1億7,117万円	
老人保健	19億3,854万円	19億61万円	3,793万円	
介護保険	9億1,237万円	8億8,466万円	2,771万円	
下水道事業	6億9,313万円	6億9,134万円	179万円	
農業集落排水事業	5,538万円	5,315万円	223万円	
簡易水道事業	1億8,471万円	1億6,170万円	2,301万円	
合計	58億488万円	55億4,104万円	2億6,384万円	
水道事業	収益的収支	2億7,197万円	2億4,514万円	2,683万円
	資本的収支	1,674万円	1億103万円	△8,429万円

注1：歳入決算額は、旧馬頭町、旧小川町の半年間の決算額と那珂川町の半年間の決算額の合算額から上半期の剰余金を差し引いた額

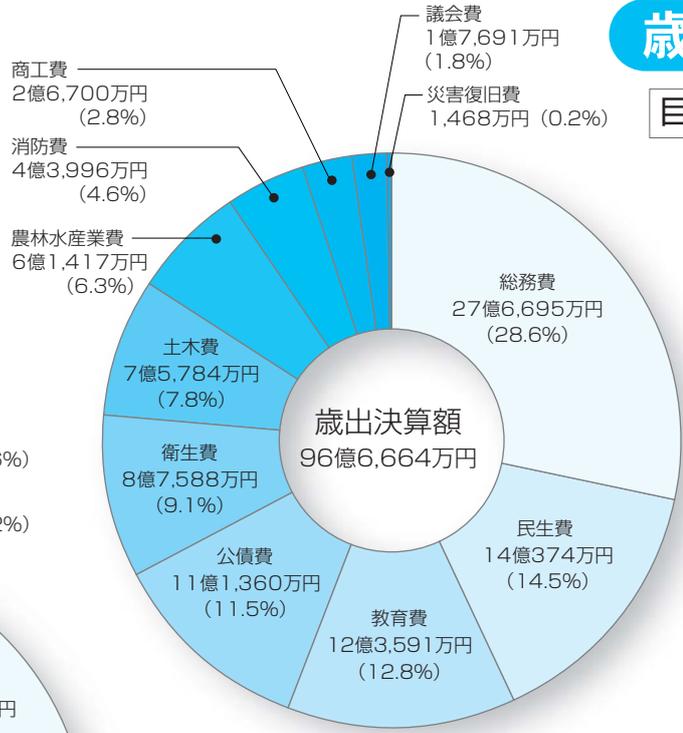
注2：歳出決算額は、旧馬頭町、旧小川町の半年間の決算額と那珂川町の半年間の決算額の合算額

※決算額については、万円未満の端数を四捨五入しています。

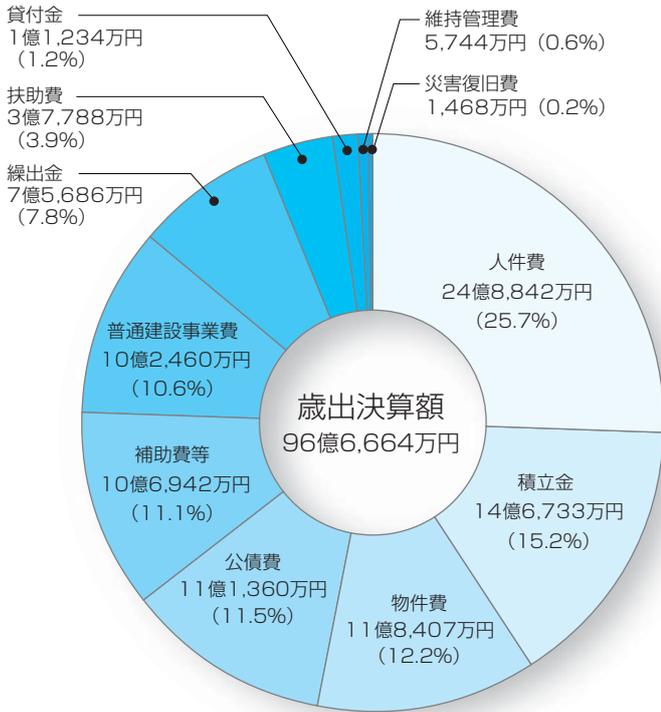


歳出

目的別



性質別



一般会計の概要

歳入で、前年度に比べ増加率の高いものは、地方交付税、町債（合併特例債）で、合併関係によるものです。また、減少率の高いものは、三位一体の改革による国・県支出金です。構成比は、依存財源66%、自主財源34%となりました。

歳出の中で、前年度に比べ増加率の高いのは総務費で、主に合併振興基金への積立によるものと、電算システム統合費です。

用語の説明

歳入

- 町税 皆さんから町に納めていただく税金
- 地方交付税 国税の中から町の財政状況に応じて交付されるお金
- 町債 大きな事業を行うための借金
- 繰入金 特定の目的のため積立金を取崩し事業実施のため繰入れるお金
- 県支出金 特定の目的のため県から交付されるお金
- 国庫支出金 特定の目的のため国から交付されるお金

歳出

- 総務費 町づくり、戸籍、徴税など町の全般的な事務に使ったお金
- 民生費 社会福祉、高齢者福祉、児童福祉などに使ったお金
- 教育費 小・中学校の運営管理、生涯学習やスポーツ活動の推進に使ったお金
- 公債費 町債を返済するのに使ったお金
- 衛生費 保健衛生やごみ処理など生活環境の整備に使ったお金
- 土木費 道路、河川、公園などの整備管理などに使ったお金
- 農林水産業費 農業、林業、水産業の振興対策に使ったお金
- 消防費 消防・防災設備の充実や消防団の運営などに使ったお金



平成17年度一般会計の主な事業



総務費

- ・合併経費（閉町、開町等） 5,339万円
- ・合併電算システム統合事業費 1億6,404万円
- ・合併振興基金積立金 11億6,500万円

民生費

- ・障害者支援事業費 1億4,083万円
- ・特別養護老人ホーム補助金 197万円
- ・児童手当、遺児手当給付事業費 9,101万円
- ・放課後児童クラブ運営事業費 602万円
- ・乳幼児医療費助成事業費 1,596万円

衛生費

- ・母子保健、予防接種及び結核予防対策事業費 2,600万円
- ・老人保健（生活習慣病等予防対策）事業費 5,547万円
- ・合併処理浄化槽設置補助金 2,491万円
- ・ごみ収集対策事業費 1億9,323万円
- ・し尿処理対策事業費 1億444万円

農林水産業費

- ・中山間地域等直接支払交付事業費 2,679万円
- ・県単土地改良事業費 4,350万円
- ・南部地区中山間地域総合整備事業費 2億26万円
- ・森林整備地域活動支援事業費 1,292万円



土木費

- ・道路等維持補修費 6,357万円
- ・道路改良事業費 2億7,931万円
- ・都市計画費 1,982万円
- ・町営住宅等管理費 1,010万円

消防費

- ・消防管理運営費 4億350万円
- ・消防施設整備事業費 2,209万円

教育費

- ・馬頭中学校改修工事費 1,951万円
- ・青少年海外体験学習事業、国際交流事業費 590万円
- ・美術館管理運営費 2,945万円
- ・町民スポーツ振興費 1,466万円



町民1人当たりに使われたお金を分けてみると

（平成18年3月31日現在 20,368人）

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
 8,685円	 135,848円	 68,919円	 43,003円	 30,153円	 13,109円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	合計
 37,207円	 21,601円	 60,679円	 721円	 54,674円	 474,599円

祝敬老

高齢者を敬い、長寿を祝う那珂川町敬老会が9月17日、町内16会場で行われました。

長い間、地域の発展に貢献された75歳以上の方々を馬頭地区では各自治会などが主催した敬老会に、小川地区においては町及び各区長で構成された敬老会実行委員会の主催による、小川地区敬老会に招待しました。今年の対象者は3,134人で、前年より63人増加しました。

現在、町には75歳以上89歳までの方が2,849名、大正5年以前に生まれた90歳以上の方は285名、そのうち100歳以上の方は7名います。町では、「敬老の日」に際し75歳以上の方全員に記念品を贈り、長寿を祝いました。

75歳以上の長寿者

109歳	岡	モトさん	(大内)
103歳	磯田	クメさん	(馬頭)
102歳	高野	サイさん	(北向田)
101歳	木村	タケさん	(久那瀬)
100歳	大金	アサさん	(高岡)
100歳	矢口	ジョウさん	(馬頭)
100歳	金子	正一郎さん	(馬頭)
99歳	遠藤	徳治さん	(矢又)
99歳	中曾	根ノブさん	(馬頭)
99歳	笹沼	信義さん	(小砂)

主な長寿のお祝い

祝い名	数え年	語源・由来
還暦	61歳	干支が60年で一回りして、生まれた年の干支に戻ることから
古希	70歳	中国の詩句にある「人生七十古来稀なり」に由来し、70歳まで生きるとは古来まれであることから
傘寿	80歳	「傘」の略字が縦書きの「八十」に見えることから
米寿	88歳	「米」の字を分解すると「八十八」となることから
卒寿	90歳	「卒」の略字「卅」が「九十」に分解できることから
白寿	99歳	「百」の字の「一」を取ると「白」の字になることから

大山田下郷地区では、126人の方々が敬老の日を迎えられ、53人の方が出席しました。会場となった大山田下郷

活性化施設では矢内修自治会長から「今日は、家の稲刈りが気にかかる方もいるのではないかと思います。一生懸命準備しました。敬老会を楽しんで行ってください」とあいさつしました。

その後、地元小学校の児童らによる、よさこいソーランや俳句などが披露されました。また、盛谷地区では137人の招待者のうち74人の方

小川地区では総合福祉センターあじさいホールで小川地区敬老会が開催され、75歳以上89歳までの方が885人、90歳以上が91人、合計976人の方が招待されました。

式典は松山富司実行委員長並びに川崎町長のあいさつに続き、長寿祝金及び記念品が敬老会代表の森嶋ミチさん(本町)と、敬老祝金受給者代表の高瀬孝さん(谷田)に贈呈されました。

お祝いのことばが杉本町議会議長に続き、小学生を代表

が出席し、余興で日光和楽踊りやビンゴゲームを小学生とともに楽しみました。



大山田下郷地区敬老会ご夫婦出席者
大金 春男さん
トミさんご夫妻

して山崎草人さん(小川南小)から、中学生を代表して小野里裕子さん(小川中)からそれぞれ贈られ、また、お年寄りを代表して和泉實老人クラブ連合会副会長からお礼のことばが述べられました。

式典終了後は、那珂川警察署の振り込め詐欺防止などの「ミニ講話」や地元の語り部による「まほろばがたり」、大橋兄弟の「歌謡ショー」を楽しみました。



お礼のことばを述べる和泉實さん



敬老祝金を受ける高瀬孝さん



盛谷地区敬老会ご夫婦出席者
北條 昇さん
ヒサ子さんご夫妻

やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指して

町政懇談会が7月19日から8月24日まで、町内の総合福祉センターや小学校など16会場で開催されました。

この懇談会は、豊かな自然と文化にはぐくまれ、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、「那珂川町総合振興計画基本構想」と「那珂川町の行財政改革」について説明し、今後のまちづくりについて町民の皆さんから広くご意見、ご要望を伺い、「那珂川町総合振興計画」の基本計画や実施計画に反映させようというものです。

16日間で326名が出席した町政懇談会では様々なご意見、ご要望が出されました。それらの一部についてご紹介いたします。(質問内容は抜粋)



7月19日(水)
於：馬頭総合福祉センター
参加人数 14名

Q 空き家が多くなって火災等の災害が心配である。町として空き家対策を考えてほしい。

A 町としても空き家が少なくなればと思う。電線の地中化などの町並み整備事業をして空き家対策になればと思いますが、時代の流れを変えるのはむずかしい。町もできる限りの対応を検討したい。

7月20日(木)
於：馬頭総合福祉センター
参加人数 15名

Q 視察に行ったときに有線テレビの施設を見てきたが、有線テレビが農業関係に果たした役割は、大きなものがあった。「梅、栗を作ってハワイへ行く」となどのキャッチフレーズで頑張っているが、その市場の状況を知らせたことがすごく役に立っている。

A 有線テレビはなくても生活はできると思うが、これからはその情報の即効性や確実性の面からもどんどん進めてほしい。根気強く進めてほしい。

A ハード的な運用はできてもソフト面の利用法が問題となるのではないか。テレビの機能を出しきれない。JAなどの協力を得て、農産物の価格の情報などを流したい。

福島の西会津町は、ケーブルテレビを導入して老人医療費が下がった。高度化事業を行っていくにあたりプロジェクトチームを作るなど開局に向けて体制を進めていきたい。

7月24日(月)
於：健武集会所
参加人数 9名

Q 馬頭矢板線の道路問題はどうかっているのか。健武神社前の道路改修について反対者がいるが、そこを除いても改修を行ってほしい。児童たちが獣道を歩いて通学している状態で、最初の計画からもう何十年も経っている。早急に対応してほしい。

A 難しい問題ではあるが、町としては県に要望はしている。説明会も開催しているが、地権者の協力が得られない状況である。道路の法線の変更、問題力所を抜いて事業を進めることは現段階では難しいことである。今、国、県関係の公共事業はどんどん絞り込んできている。今後、事業費が増えることはないのか、今回事業ができないと何年も先に

なってしまう。
Q 少子化で児童の数が減っているが、学校の統廃合はどうなっているのか。校舎も古くなってきている。早く統合してほしい。

A 今年から複式学級が2学級になっている。健武小学校は平成24年度からは児童数が33名となって完全複式となってしまう。学校整備検討委員会から今後の学校整備について答申をもらっているので財政状況を見ながらできるだけ早く統廃合を進めたい。

7月25日(火)
於：多目的和見集会所
参加人数 9名

Q 基本構想の中で学校はどのように整備していくのか。

A 少子化が進んでいる状況にある。和見小学校は本年度の複式学級は2学級である。各学級の人数構成の関係で、平成21年度から完全複式になる。他の学校も似た傾向である。昨年2月の学校整備検討委員会からの答申をもとに検討を進めている。地元の合意が得られれば早急に統合を進めたいと考えている。平成20

年度には統廃合したいと考えているので、今後説明会を開きたいと思っている。

Q 農家の跡継ぎがない。若い人の住むところがない。働くところがない。立派な構想を作っても財源が無いと実現はできないと思う。

A 財政的には大変きびしい状況にあるが、今、那珂川町に出来る事は振興計画を生かしていくことが必要で、将来に向けたまちづくりを行っていく。

また、先日、この地域の整備要望書が提出されたが、この件については国、県を巻き込んで積極的に行なっていきたい。しかし、地元皆さんの同意が基本であるので皆さんのご理解をお願いしたい。

7月27日(木)
於：武茂小学校体育館
参加人数 50名

Q 北海道夕張市が破綻したニュースがでたが、現在の町の財政状況を簡単に説明してほしい。那珂川町は、栃木県内で財政的に何番目なのか。

A 財政状況は、財政力指数で表すと県内で33市町のなか

で、残念ながら33番目である。那珂川町は40%近くが交付税に依存している。住民の皆さんに負担していただく部分を上げれば収入が増えることになるが、簡単に上げることはできない。夕張市のようにならないように頑張っているところである。

Q 町づくりの基本目標の中で道路整備はどうなっているのか。

A まちづくりの中でも道路整備は重要な問題であるので、重点地区を決定して整備していくことになる。

Q 携帯電話が通じない地区があり、若い人たちが住みたくないと話しているが、今後通じるようになるのか。

A 那珂川町には、数か所携帯電話が通じない地区がある。総務省など各方面に要請はしているが、アンテナ一本が5千万円以上かかり、採算の面で難しいところがある。

7月31日(月)
於：谷川小学校体育館
参加人数 26名

Q ケーブルテレビの加入申込状況が知りたい。今までの

CTBと違う利用方法はどんなものがあるのか。

A 加入申込は、馬頭地区アンケート調査回収80%のうち約83%が加入希望している。市場の情報、病害虫防除の情報、医療、学校、防犯などの情報を流せるように整備検討している。

Q 歩道が急に無くなってしまつ所があり、大型車が通過する際に大変危険な状況であるが、対応はどうなるのか。

A 県に要望はしてあるが、財政状況などの理由により整備、対応が遅れている状況であり、早急に対応するようにこれからも要望していく。スクールバスの利用も考えていきたい。

8月1日(火)
於：大内小学校体育館
参加人数 39名

Q 自主財源の確保、使用料、手数料の見直しは具体的にはどんなことを考えているのか。

A 那珂川町は大企業などがなく、税収が少ないので自主財源の確保が課題である。農林業、商工業が発展してい

ないと、町税が増収しない状況である。自主財源を確保するのは非常に厳しい面があるので、理解していただきたい。町としては極力自主財源確保に努力する。

Q 町内の学校の統廃合があるらしいが、東中学校にお金をかけて校舎などを改築すると、大内小学校をそのまま使ってスクールバスを利用した場合のどちらが経費がかからないか、よく考えてほしい。

A 昨年2月に学校整備検討委員会からの答申を受けて、これから整備していくことになるが、2回も3回も合併することのないよう、地域の皆さんの声をできるだけ反映していきたいと思う。

8月3日(木)
於：大山田小学校体育館
参加人数 22名

Q 大山田上郷に8m30cmという大きい桜がある。これは江戸彼岸桜で関東でも一番じゃないかと言われているが、だいぶ枯れ始まっているので、早急に手を打っていたきたい。

また、大山田上郷に椿があ

るが、周囲が2mある。これも専門家に見てもらったが、栃木県でも5本の指に入ると言っていた。馬頭には、大体1m以上のものが20本近くある。全国椿の会の役員の方向人か来ていただいて見てもらったが、一つの町にこれだけの数があるっていうのはめずらしいと言っていた。人口的に作ったものじゃなく、昔からあるものを生かして町の活性化につなげていただけたらありがたいと思う。

A 県も今、全県下同じテーマでの町づくりをやっているのが「わが町自慢交付金」という事業だが、説明の中で協働のまちづくりという説明があったと思うが、たとえば小川のカタクリ山についても、最初は民間レベルでスタートしたものがあのような形になってきた。盛谷地区では「なごみの里づくり」とか、富山地区では「はたるの里づくり」など地域を活性化しようというもので、地域が自主的に取り組むものに対し、町も支援するという事業です。県の「わが町自慢」は、たとえば上郷の桜なら、桜を大いにPRす

る。枯れかかっているならば、樹木医を要請して専門家に見ていただいで再生するという事もできる。

Q 現在、民間委託しているものはどんなものがあるのか。

また、これからどんなものを推進するのか、お聞かせ願いたい。埼玉であったプールの監視はまさか那珂川町ではやっていないと思うのだが。

A 民間委託の件を、検討する前段として那珂川町はどれくらいの施設の数になるかというところ、169カ所になる。これからどういう運営が合理的か、当然民間に委託するべきものと直営でやるものというところがある訳だが、行政では、サービスの低下がいちばん怖い訳だから、これから民間委託への検討を十分やっていきたい。

現在民間委託をしているものについては、町営バス、給食の配達、ごみ収集業務が主たるものだ。まほろばの湯も指定管理者制度で会社に委託して管理してもらっている。

8月4日(金)

於・馬頭西小学校体育館

参加人数 10名

Q 行財政改革が必要なのはよく分かった。実際に取り組む姿勢だが、提案制度の有効活用について、どの程度これから職員の意識を高揚させていくのか。事務事業の見直しも緊急性があるか、妥当性があるか、効果があるかを職員に出してもらおう。そういうところから事務事業の見直しや事務事業の効率化、行政評価制度も導入し、ぜひ事務の効率化に努力してもらいたい。

A 行財政改革推進本部会議を開催して、その下に施設管理部会、行政効率化部会、事務合理化部会、人事組織部会がある。事務事業部会はすでに15回ほどやっている。行政は今までのんびりしていたというのが実態だった。しかし今、大変財政は厳しい。町は住民のサービスを低下させないためには、どうしても合理化を進めなければならぬ。合併はしたものの、各事務事業は小川と馬頭は全く違う。合併協議会までに調整は

してきたが、まだまだ、調整仕切れないという状況だ。そういう中で職員がそれぞれの部会で検討をしている。それらをまとめたものが行財政改革推進本部であり、そこで提案制度の真剣な議論をして、いかに有効に活用するかと同時に、いかにして提案してもらうかのしくみづくりが大切だ。本当に提案制度が機能するようにするためにはどうしたらいいか。提案に対して誰がいつ、どこで審査をするかというようなことまでやっている。ここまできた経過については、職員の勉強会や研修会を何回も開催している。職員数にしても合併当時300人だったものが、10年後には200人体制にするから、事務効率も5割アップしないと仕事はできないという単純な計算になる。当然この中には、合理的だとすれば、民間委託をする。基本的な住民サービスの低下をまねかないで合理化を進めるといえるのは、これからの大きな課題である。

Q 那須烏山市の議員は20名、当町においては18名。18名はいらないんじゃないかと

いう話もあり、議員定数を減らしたらいいんじゃないかと思う。

A 議員定数は合併協議会の中で、特別委員会を作って検討してもらった結果、現在の18人という定数になった。他の委員からもっと少なくないんじゃないかという意見もあったようだ。議員は、合併当初なので、地域の声を町政に反映するようにと現在の定数に決まったと思うが、あくまでも議員定数というのは今の法律でいくと、町長部局での権限はない。あくまでも議会内部で決めることですので、そのように理解してほしい。

8月8日(火)

於・馬頭総合福祉センター

参加人数 9名

Q 基本構想のまちづくりの方針の中で10年後の人口が人口18,000人、世帯数が6,100世帯と想定されているが、何もしないでいると18,000人というのは維持するのは難しいと思うがその辺はどのように考えているのか。また、世帯数が増えて

くると住宅の新しいものを作らなければならぬということも考えられる。

A 人口18,000人を想定している対応策だが、何もしないでいるのは確かに人口減少を防ぐのは難しいと思う。10年後も難しいと思う。社会的資本の整備やインフラの整備などによって何とか食い止め、18,000人を想定するということである。加えて6,100世帯の想定だが、現在の住宅事情、土地利用の観点から住宅あるいは都市基盤整備の中で住宅地あるいは人口減少を食い止めるがら6,100世帯を維持していくという形になるかと思う。

8月10日(木)

於・小川総合福祉センター共生館

参加人数 18名

Q 高齢者対策で、老人会やいきいき大学として生涯学習をやっているが、これから3分の1の人口が高齢者になると高齢者の枠が非常に広くなり要求が高くなってきている。生涯学習の中身をもっと少し考えていかなければならぬ

いんじゃないかと思う。

A 那珂川町の老人クラブの組織率が高い。最近ではゲートボールからグランドゴルフに移行している。その一例として、健康福祉課と生涯学習課が一体的に連携して共生館の東側の芝を活用してもらった。現在準備を進めている。住民意識アンケート調査からも保健や福祉の整備体制の要望が強い。これからも十分対応していきたい。

8月11日(金)
於：小川総合福祉センター共生館
参加人数 26名

Q 小川健康管理センターが水曜日の午後2時間だけしか開かない。3人いた保健師が1人もいないので、健康面の相談に行きたいという方が困っている。施設の活用も大事じゃないかと思う。

A 現時点では、週1回午後のみということだが、かなり要望があるので内部で検討している。できるものから対応したい。皆さんが不安にならないような対応をしたい。

Q 那珂川町総合振興計画基本構想はすばらしいが、青少年健全育成の向上のための支援計画を2、3年前に話し合っ

て、次世代育成支援計画というものを作った。それらをぜひ、今度の基本計画の中に活用していただきたい。

A 最近の子どもをとりまく環境は大変厳しい。安全安心な地域づくり条例を9月議会に上程する予定である。これからは、地域の皆さんのご協力が必要であるし、協働のまちづくりという点からも行政と一体となったまちづくりを進めていきたい。

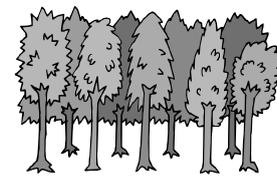
8月17日(木)
於：小川中学校ランチルーム
参加人数 12名

Q 農林漁業の振興の中で担い手の確保と書いてあるが、森林のブランドを作るため各学校の中学生の部活動の中に森林部というのを作ってもらおう。体で覚えさせるような独自の教育が必要なのではないか。

A 今の木材価格では森林を伐採した後植林ができず、個人で山を保育できないのが現状です。栃木県としても環境税や森林育成費用というものを県民に薄く広く協力しても

らって、環境の観点からも森林事業を進めていくという大きな方針が出ました。中学生についても技術習得に活用してほしいと寄付をいただいで作った基金がある。

るので、山を守るための事業を展開していきたい。



8月21日(月)
於：南小学校ランチルーム
参加人数 17名

Q 施設の統廃合は地域住民と調整を図りながらと書いてあるが、小川地区の施設の統廃合はどう進めているのか。旧小川町で作られた施設については支所で管理運営できるような体制を作ってほしい。

A 指定管理者制度などいろいろ検討しているところである。

施設の利用については、本庁でも支所でもどちらでも利用できるようになっていく。連携がうまくなかったのか、よく確認をして改めたい。

8月22日(火)
於：葉利小学校体育館
参加人数 16名

Q この地域は町外者の所有する土地があちこちに点在しているので、目を光らせて危険なものを持ち込まれないように力を入れてもらいたい。

A 不法投棄は町でも監視員をお願いし、恒常的にパトロールして対応している。地域で発生した場合には、早急に対応したい。

Q 大きくなったら那珂川町に残りたいという人が何人いるか。こういう視点での人づくりが必要なのではないか。人づくりについてはどこに着目を置くべきなのか。具体的な施策はあるのか。

A 各学校とも力をいれて指導していることは、「自己愛」で、自分の良さを見つけて自分を大事にしなさいということである。これは人権教育の出発点である。自分を大事にすることと同時に友だちを大事にし、学校を愛し郷土を愛する気持ちは持っている。ただ、大人になると同時に、仕事の関係でやむなく那珂川町を離

れてしまうというのが現実だと思う。子どもたちはこの町を愛する」という教育

は十分に受けている。



8月24日(木)
於：小川総合福祉センター共生館
参加人数 36名

Q 合併した場合には町長や三役、議員が時間をとってまなく歩いて町の状況をつかみ、良い政治を執るといような個人的な努力が必要。地の利を見て、人情を悟って議会と執行部が一体となってまちづくりに取り組んでほしい。町はムダのないようにやってもらいたい。

A 与えられた時間は精一杯私なりにやっている。真剣に取り組んでいるので、そのようにご理解願いたい。最終的に合併してよかったと言われるようにしたい。どんどんご意見をいただいで、町政に反映させたい。

今月号は

- 小川地区アンケート集計結果
- 小川地区アンケートの疑問、質問から(1)
- 事業費の概要
- 小川地区加入希望調査を中心にお届けします。

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも、がITの恩恵を」

ユビキタス社会の実現を目指して

平成21年4月 ケーブルテレビが生まれ変わります

～那珂川町ケーブルテレビ高度化事業～

Vol.13

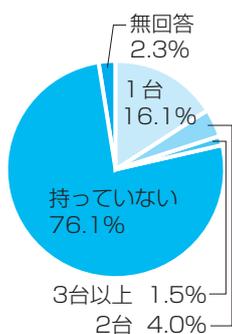
結果
①小川地区アンケート集計

7月から8月にかけて小川地区住民を対象に行った「ケーブルテレビ高度化事業に関する小川地区アンケート」の集計がまとまりました。

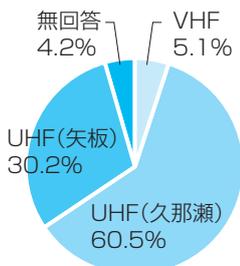
アンケートは、2,092世帯に配布し、回答率22.6%で473世帯から回答がありました。以下に主な結果をお知らせします。

テレビ・アンテナについて

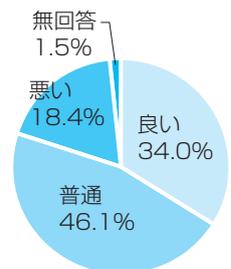
○デジタルテレビの所有率
(限定設問)



○アンテナの種類

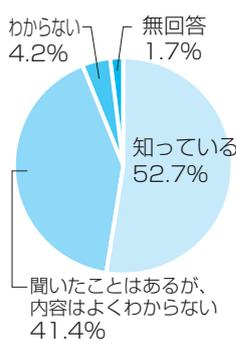


○画像状態

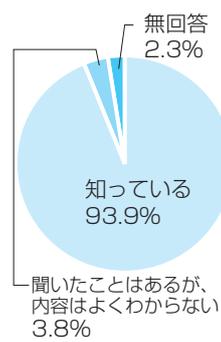


地上デジタル放送について

○地上デジタル放送の認知度

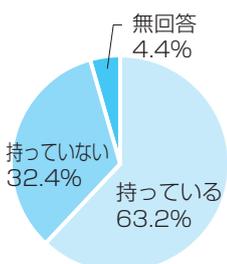


○地上デジタル放送とテレビ

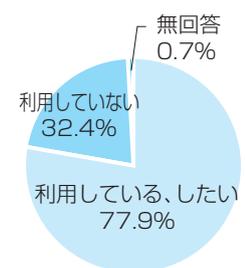


インターネットについて

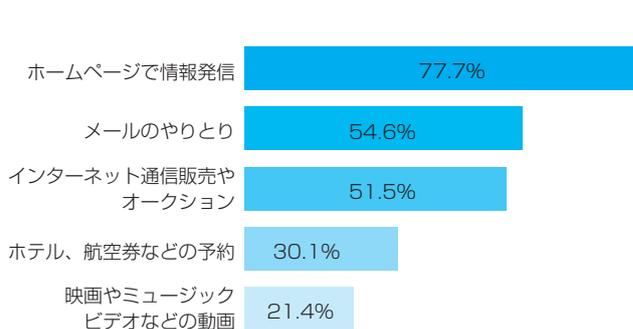
○パソコン所有率



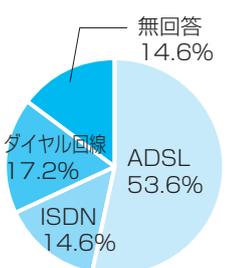
○インターネット利用率
(限定設問)



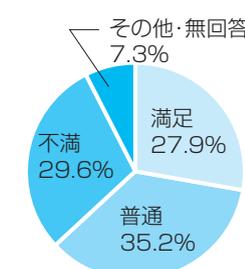
○インターネットの利用目的
(限定設問・複数回答)



○接続回線の種類
(限定設問)

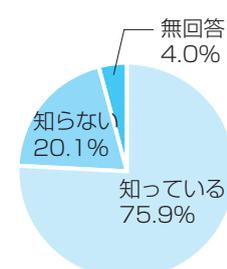


○接続回線の満足度
(限定設問)

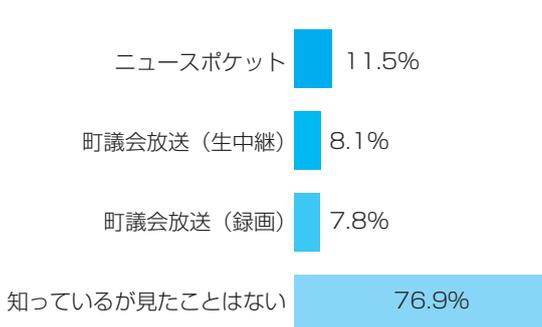


○CTB認知率

CTBについて

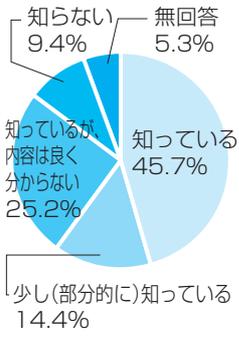


○自主放送番組の視聴
(限定設問・複数回答)



ケーブルテレビ 高度化事業について

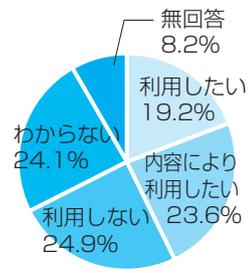
○ケーブルテレビ高度化事業 認知度



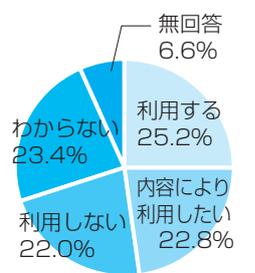
○バックチャンネル利用料金 平均チャンネル数 8・4チャンネル

平均月額料金 1,253円

○インターネット利用希望率

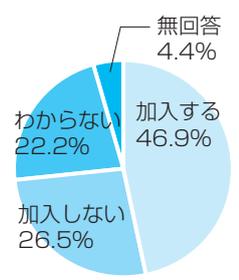


○IPTV電話利用希望率



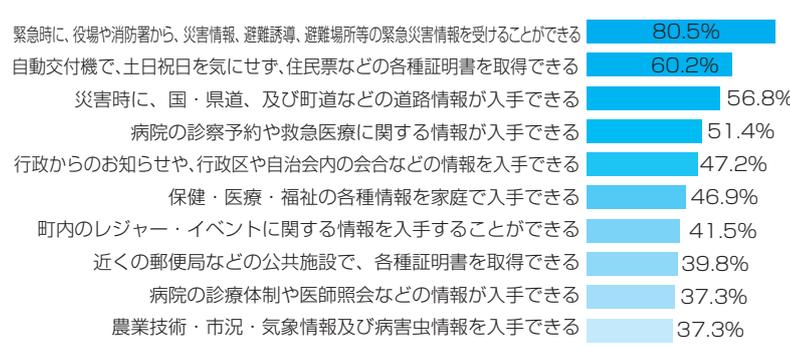
※アンケートにご協力ありがとうございました。

○新しいケーブルテレビへの加入希望率



必要な情報について

○町内の情報化を進めていく上での必要な情報上位10項目 (複数回答)



②小川地区アンケートでの 疑問、質問にお答えします。(第1回)

Q1 現在のアナログ放送で不自由はしていない。デジタル化をする必要はないと思うか？

A1 放送のデジタル化は国が進めているもので、全国一律に対応しなければならないものです。

アナログ放送で十分だと思っ
ていても、平成23年7月には、
地上デジタル放送だけになって
しまいます。そのためにも、
ケーブルテレビ高度化事業に
よりデジタル化に対応してい
こうとするものです。



Q2 いくら国策とはいえ、放送のデジタル化に町が多額な費用をかけて対応しなければならぬ理由は？また、小川に拡張する理由は？

事業は、テレビを見るためのものと考えている町民の方もいますが、テレビ視聴は目的の一つであり、そのためだけに整備するものではありません。その目的は、①那珂川町としての一体性の確立 ②情報通信技術を利用し、自宅での行政サービスを利用 ③行政サービス向上のために、地域通信網(イントラネット)を構築 ④地上デジタル放送への対応 ⑤情報格差(デジタルデバイド)の解消 の5つであり、まずは、行政サービスを「いつでも、どこでも、誰でも」が利用できる環境(ユビキタス社会)を整備し、家庭にあるテレビを活用して見るテレビから使うテレビにしていこうとするものです。

このために、馬頭地区の施設を一新し、併せて小川地区にも拡張することによって、那珂川町としての一体化を図り、地域間の情報格差を解消し、地上デジタル放送にも対応しようとするものです。

Q3 「ケーブルテレビ」ってどういうものなの？地方(田舎)の放送？

A3 ケーブルテレビは、電話線のように線(ケーブル)を使って安定したテレビ放送電波を家庭にお届けするとともに、インターネットやIPTV電話等の様々なサービスを提供するものです。

テレビを見る場合、個人でアンテナを立ててテレビ放送電波を受信しますが、ケーブルテレビでは、集合アンテナで良質な電波を受けて、ケーブルで各家庭に流します。ので、アンテナが不要となり、鮮明な画像を見ることができ
ます。

ケーブルテレビは当初、山間部の難視聴解消を目的に始まりましたが、最近では、都市部を中心に、テレビ放送の配信に加えてインターネットによる情報の取得やコミュニティの手段として利用されるケーブルテレビが広がっています。

県内では、宇都宮市や佐野市、栃木市、足利市、小山市、鹿沼市、真岡市、茂木町にあり、都市型ケーブルテレビと

呼ばれています。運営形態も自治体、第3セクター、民間放送事業者と様々です。



Q4 町の情報は、広報紙やホームページで十分だと思うが？

A4 町の情報を皆さんにお届けする媒体としては、従来からの広報紙や防災無線、ホームページがあります。また、馬頭地区には音声告知放送とCTB文字放送があります。お知らせしたい内容によってそれぞれの特徴を使い分け、情報が皆さんに確実に届けられるよう努めております。

小川地区にもケーブルテレビを拡張することによって、町がお知らせしたい情報、皆さんが知りたい情報を、町内隅々まで迅速に行き届かせることが可能となります。そのためにも、ケーブルテレビにぜひ加入してくださるようお願いいたします。

Q5 運用開始が小川地区と馬頭地区で異なるのはなぜ？

A5 運用開始が両地区で異なる理由は、2点あります。まず一つは、計画策定期期の違いです。

馬頭地区については、平成15年度からケーブルテレビ高度化事業の推進を決定し、調査・研究、計画案の策定を行ってきました。

平成17年に2町合併協議において、ケーブルテレビ高度化事業を小川地区にも拡張する旨の合意がなされ、那珂川町誕生とともに、小川地区拡張のための計画案策定に入りました。

この結果、馬頭地区が平成21年4月の運用開始予定となり、小川地区が平成21年中の運用開始を目指すというスケジュールになりました。

もう一点は、小川地区のケーブル敷設が「0」からの出発という点です。馬頭地区については、従来の施設を参考に計画することができますが、小川地区については、最初の計画となります。最初からの計画となりますので、同時期での運用開始が困難となります。

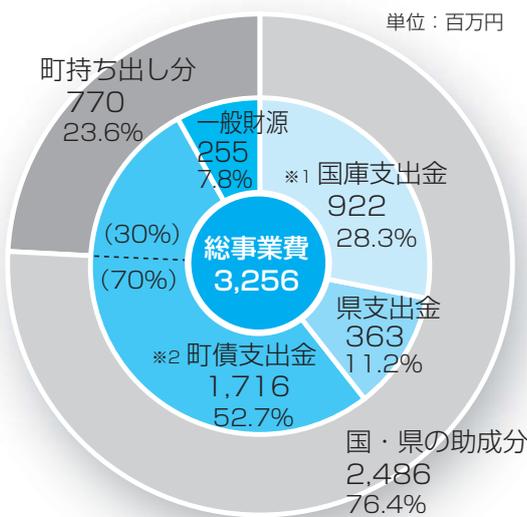
しかし、那珂川町の一体化の達成のためにも、小川地区の運用開始が一日でも早く可能となるよう検討しておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

③ケーブルテレビ高度化事業の事業費と財源について

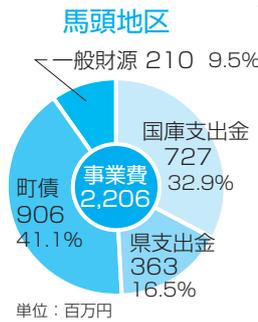
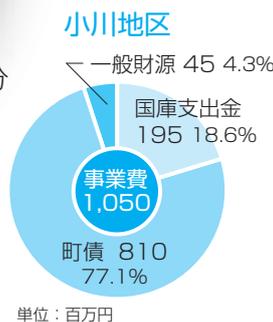
ケーブルテレビ高度化事業の全体事業費は、約32億5,600万円で、財源は国庫支出金が28・3%、県支出金が11・2%、町債が52・7%、一般財源が7・8%と見込んでいます。財源と負担割合は、グラフのとおりですが、町債の合併特例債分については交

付税算入措置がなされるため、実際の町の持ち出し分は、約7億7,000万円です。財政負担をできるだけ軽減するよう、国・県の助成や合併特例債を最大限に活用します。

概算事業費及び財源内訳



※1 馬頭地区：農水省交付金
小川地区：総務省交付金を予定
※2 町債：合併特例債



④小川地区加入希望調査にご協力をお願いします

◎小川地区加入希望調査

来月10日から小川地区町民及び事業所を対象に、ケーブルテレビ加入希望調査を行います。この調査は、ケーブルテレビへの加入希望世帯数を事前に把握し、事業の実施に反映させるためのものです。加入希望をされた方には、後日(加入促進期間において)あらためて加入申込書を送付いたします。

◇調査期間
11月10日から12月11日まで

◇調査対象者
・小川地区住民
・小川地区内の事業所

◇配布及び回収方法
・区長を通じて調査書の配布及び回収を行います。

・事業所には郵送します。



運 動 会



秋は毎年、私はできるだけ全ての小学校の運動会に行きます。しかし、合併後の小学校は数が多すぎて、今年は小川地区の小学校、3校の運動会だけに行ってみました。

最初は薬利小学校でした。3・4年生の「忍者の修行」はとても印象的でした。児童は真っ黒のゴミ袋をマントとして着て、様々な障害物を乗り越えてゴールまで走ります。黒いマントに画用紙で切り抜いた真黄色の「忍」や「卍」などの字が貼られていました。児童はマントを着た瞬間に突然、性格がまるで忍者のように変身しました。2週間の運動会の練習で、児童たちは疲れ気味のようなのですが、薬利小学校の児童は元気に、楽しく忍者の修行を立派にやり遂げました。

薬利小学校から小川小学校へ移動しました。私はこっそり会場に入り、児童の赤組のテントに忍び込み、後列の空いていた椅子に黙って座りました。近くにいた児童が私に気づくと、急に児童30人位がまとわりついてきました。「小川小学校の訪問は4月に始まったばかりなのに、何でこんなに親しくしてくれるのかな?」と思いつつ、私はとてもうれしかったです。会

場で最近会っていない私の友だちが何人かいて、「私の子はこの学校の5年生です」、「私の子は今6年生です」などと言われ、友だちの子どもが教え子だったことを初めて知りました。小川小学校は学校規模のわりに、とても親しみのある学校と改めて感じました。

最後は、小川南小学校へ行きました。小川南小学校からは正式な招待があったので、この学校で残りの時間を過ごすことにしました。私が着くとすぐに、地域の方々が参加する種目となり、小川小学校と違って私はすぐに皆さんの前で種目に参加しました。レースが始まる前に児童から恥ずかしくなるほどの声援がありました。努力しても5位で終わってしまいました(ただし、妻は5位賞品となった洗剤に喜びました!)。小川南小学校の運動会で私は教えたことがない小川中学校女子生徒に英語で話しかけられ、その積極的な態度にとっても感心しましたが、私のほうが少し恥ずかしくなりました。

一日を振り返ってみると、子どもたちの親と話すことがほとんどできなくて、ちょっと残念に思いました。時間の制限もありましたが、大人同士で会話を始めるのはお互いに少し恥ずかしかったこともあると反省しています。しかし、小川地区の住民をはじめ、那珂川町民と接して、運動会での児童の努力を思い出すと、もっと積極的にがんばろうと思いました。やはり、子どもたちは那珂川町の宝物です。

10月は正しい犬の飼い方強化強調月間です

あなたの犬がご近所から好かれるために、次のことを守って正しく飼育してください。

☆放し飼いはやめましょう。

放し飼いはみんなの迷惑です。絶対にやめましょう。

犬にとつても、交通事故にあうなど危険がいつぱいあります。散歩の時も、リード(引き綱)をつけましょう。

☆犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。

生後91日以上の犬には登録と狂犬病予防注射が義務づけられています。犬の生涯に1回の登録が必要です。(受付窓口…住民生活課)

また、狂犬病予防注射は、毎年1回必ず受けましょう。犬鑑札と狂犬病予防注射済票は首輪につけましょう。(万一迷子になったとき、飼い主がすぐわかります。)

☆不妊、去勢手術をしましょう。

不妊、去勢手術をして不幸な命を増やさないようにしましょう。犬など動物を捨てる

ことは犯罪です。

☆ふんの後始末を必ずしましょう。

散歩中にふんをした時は、必ず持ち帰りましょう。道路や公園など公共の場所を汚さないようにしましょう。

☆えさだけ無責任にあげるのはやめましょう。

えさだけあげるのはやめて、飼うなら責任を持って飼いましょ。飼いが何らかの事情で飼えなくなった場合は、住民生活課へご相談ください。

問い合わせ

本庁住民生活課

0287-92-1112

支所住民生活課

0287-96-2114



北沢の不法投棄の 解決に向けて(12)

今回は、那珂川町に県が計画している処分場のゾーニングについて説明しました。今回は、基本設計(案)が県から示されましたが、その中の施設概要についてお知らせします。

施設の位置は、和見、小口
地内の備中沢に建設を計画しています。

施設の種類は、管理型最終処分場で事業区域面積は、約78ha、その内埋め立て面積は、約6・1haです。埋め立て容量は、約80万m³となります。内訳は、北沢不法投棄物約5・1万m³、県内から排出される管理型廃棄物 約58・9万m³、覆土約16万m³です。埋め立て期間は、12年程度を計画しています。

受け入れる廃棄物は、北沢の不法投棄物(受け入れ基準に適合するものに限る)、廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラスくず、建設廃材、木くず、紙くず、プリント基板、顔料、ビニールシート、医療系廃棄物、自動車解体材、焼却灰等を前処理

施設で処理をしてから処分場へ埋め立てます。

また、県内から排出される管理型廃棄物として、燃え殻、ばいじん、汚泥、鋳さく、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、シュレッツダスター等を受け入れる計画になっています。

馬頭最終処分場の 施設配置



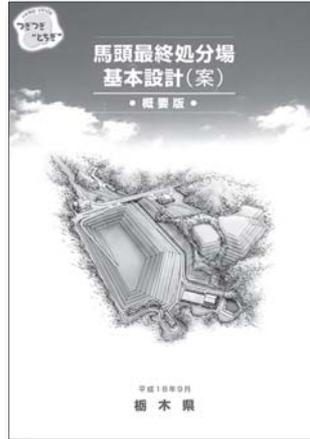
施設配置図

馬頭最終処分場町民説明会

馬頭最終処分場に関する町民説明会が9月21日午後7時から、馬頭総合福祉センターで行われ、町民約130名が出席しました。

説明会は、県生活環境部環境局馬頭処分場整備室職員から馬頭最終処分場基本設計(案)、事業実施のための環境影響評価書(案)について、資料に基づく説明がありました。

説明終了後、出席者からは「周辺整備も含め、イメージアツプを図ってほしい」、「全国モデルとなる処分場を造り、一刻も早い解決をお願いしたい」などの意見や「処分場の搬入道路は地区としては受け入れられない」、「一般廃棄物を受け入れるのはおかしい」などの意見が出されました。



不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

- 1、平成18年度第2回年間変動調査分
 - 調査項目 健康項目、生活環境項目、その他
 - 採水日 平成18年8月7日
 - 採水場所 1 周辺環境水
 - ① 投棄地直下河川
 - ② 小口川上流
 - 2 投棄現場
 - ③ 投棄地地下流側浸出水
 - ④ 投棄地内浸出水
 - 調査結果⇒周辺への汚染拡大の兆候は認められない。
- 2、平成18年度年間変動調査分(ダイオキシン類)
 - 調査項目 ダイオキシン類
 - 採水日 平成18年6月12日及び26日
 - 採水場所 1 周辺環境水
 - ① 投棄地直下河川
 - ② 小口川上流
 - ③ 周辺人家井戸2カ所
 - 2 投棄現場
 - ④ 投棄地地下流側浸出水
 - 調査結果⇒周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

最終処分場視察を実施します

県と町では、町民の皆さまに実際の処分場を見ていただき、処分場がどんなものを理解していただくため、次により最終処分場の視察を実施します。

- 視察先 埼玉県環境整備センター(埼玉県寄居町)
エコフロンティアかさま(茨城県笠間町)
- 対象者 那珂川町に住所を有する団体・グループ
- 申し込み 環境整備対策室 ☎0287-92-1114
- 実施期日 申し込み団体等と調整のうえ決定します。



与一ゆかりの地で

扇の的弓道大会

9月18日、恩田御霊神社弓道場で第24回那須与一宗隆公顕彰扇の的弓道大会が開催されました。

この大会は、恩田御霊神社が那須与一宗隆公の廟所であることから宗隆公を顕彰するとともに、弓道の普及推進のために行われているものです。

開会式では、小川文化財愛護協会長の福島さんが「現代は心のご飯が不足している。今日は弓道の技術を高めるとともに、心にご飯を食べさせてやってほしい」とあいさつ。参加者103名はそれぞれの部で扇の的目掛けて矢を放ち、互いに競い合いました。



全国ホープス卓球大会に出場

小川卓球スポーツ少年団

8月29日から31日にわたり東京体育館で行われた全国ホープス卓球大会に、栃木県代表として参加した小川卓球スポーツ少年団女子チームは、見事予選を突破しました。

トーナメント1回戦は杜卓球クラブ（東京）と対戦し、2対1とリードし、ラストでは2ゲーム先取するなど、あと一歩で勝利をつかむところだったが、無念の逆転負けを喫してしまいました。

しかし、全国の舞台で堂々と戦い、実力でも決して引けを取らないということと、小さな町のスポーツ少年団でもやればできるということを証明してくれました。



大嶋克明さん

NHK学園全国川柳大会で特選受賞

9月9日、東京都くにたち市で行われたNHK学園第20回記念全国川柳大会で大嶋克明さん（薬利）の川柳が特選に選ばれました。

大嶋さんの作品は全国から投句された約1万点の作品の中から特選3点の一つに選ばれました。

大嶋さんは昭和41年から川柳を始め、今年で40年になります。平成2年にNHK学園川柳講座を受講し、現在は、様々な川柳大会に投句しており、今回の作品は「合併で小川町がなくなる寂しさを詠みました」と話していました。

受賞作品

合併で消える

町旗の愚痴を聞く



道の駅で開発したパンを試食

馬頭高校家庭クラブ

9月2日、道の駅ばとうで馬頭高校家庭クラブ員がそば粉をアレンジしたパンの試食を行いました。

家庭クラブ員10名はそばを使った料理を4月から研究してきた結果、「そば粉パン」と「まほろば焼き」の2種類のパンを作り、道の駅に立ち寄った方にその出来を評価してもらおうと行なったものです。

この日用意されたパンは、2作品とも30食。「いろいろな料理にアレンジできる」「そばの味がしない」などの意見を真剣に聞いていました。試食後のミーティングでは、「今後も研究を続け、地元の名産品となるようなものを作りたい」と話していました。



岡崎孝さん

ダイワ鮎マスターズで初優勝

日本で最も参加者の多いアユ釣り大会「ダイワ鮎マスターズ2006」の決勝大会が9月3日、那珂川を会場に開催され、岡崎孝さん（谷田）が初優勝に輝きました。

この大会は全国13地区の予選からブロック大会、決勝大会と3段階に分けて開催。予選のリーグ戦は順調に勝ち進み、準決勝は9匹を釣って相手に5匹差をつけ、決勝でも11匹釣って6匹差をつけるなど圧倒的な強さで優勝し、初参戦から15年で頂点に立ちました。

岡崎さんは「目標にしていた大会で優勝できて、本当にうれしい。来年も優勝して、2連覇したい」と今後の抱負を語ってくれました。



第1回那珂川町民ゴルフ大会

晴天に恵まれた9月10日、那須小川ゴルフクラブで第1回町民ゴルフ大会が行なわれ、一打一打に一喜一憂しながら130選手が楽しいラウンドを満喫しました。

グロスの部では斉藤義行さん、光子さんご夫妻が、男女とも優勝するといふ快挙を成し遂げました。また、ネットの部では斉藤健一さんが優勝しました。大会の主な成績は、次のとおりです。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--|--|
| ネットの部 | グロスの部 | | |
| 優勝 斉藤健一さん（健武） | 男子優勝 斉藤義行さん（芳井） | | |
| 準優勝 西宮 功さん（久那瀬） | 女子優勝 斉藤光子さん（芳井） | | |
| 3位 深沢昌美さん（矢又） | | | |



ネットの部
優勝 斉藤健一さん



グロスの部
優勝 斉藤義行さん光子さんご夫妻

和舟講習会

馬頭高校生

9月26日、馬頭高校水産科生徒12名が、和舟（鮎釣り舟）に挑戦しました。この講習会は、那珂川カヌーくだりを視野に入れたカヌーの漕艇技術の習得と操作技術などを学ぶことを目的に行なわれました。

生徒たちは、最初にカヌーで久那瀬の実習場を出発して富谷橋付近まで下りました。その後、武石廣二さん（富山）を講師に迎えて、舟の構造や製造方法などの説明や乗り方の指導を受け早速、生徒たちが挑戦。舟竿一本で操縦することに悪戦苦闘しながらも、古来より伝わる釣舟の乗り心地を楽しんでいました。



高野ぶどう園でぶどう狩り

9月27日、高野ぶどう園（久那瀬）では町内の福祉作業所の利用者をぶどう狩りに招待しました。

高野正男さんは、以前から福祉施設などにぶどうを贈っていましたが、5年ほど前から毎年、福祉作業所の利用者を招待するようになりました。

この日招かれたのは、町内にある2カ所の福祉作業所の利用者16名で、高野さんから「たくさん食べて、楽しんで行ってください」とのあいさつに、口いっぱいにはおぼりながら「美味しいです」と笑顔で答えていました。



運動会

9月16日、那珂川町の小学校10校で運動会が開催されました。前日まで雨が降りお天気が心配されましたが、絶好の運動会日和となりました。

児童たちは練習の成果を元気いっぱい披露しました。また、保護者はわが子の成長ぶりを見て、応援にも熱が入りました。

また、9月30日、10月1日には各保育園で運動会が行われ、園児たちの元気な声が会場に響きわたりました。

小川第1・2・3保育園



いそげ宅急便



ひっぱってハツラツ



大玉ころがし



ホ！ホ！ホ！



かけっこ

大内保育園



ちびっこ忍者



老いては孫にしたがえ



どっちがでるかな



紅白玉入れ

大山田保育園



力をあわせて



トップおぶザ・ワールド



バンザイ

みんなが主役！人がキラキラ輝け
小川小学校



走れ！風の子



元気にかけっこ



力を合わせて



だるまはこび



応援綱引き



地区対抗背中のあつしよ



紅白玉入れ



Let's フォークダンス



さあ みんなでどっこいしょ



忘れない！この日この汗この感動！

やる気！本気！元気いっぱい運動会
谷川小学校

薬利小学校



晴れたらいいね



栄光へのかけ橋



デカパンマン



台風一過



全校綱引き



竹取物語



バンザ〜イ



地区対抗リレー



紅白対抗リレー



「こころ」の健康管理 もう「こころ」に注目を

メンタルヘルス（心の健康管理）が重要視されてきてはいるものの、それでも心の病に關することは、ともすれば偏見や差別につながる可能性があります。



「こころ」とは？

私たちはたえず、見たり、聞いたりして、いろいろな情報を取り入れ、それについて瞬時に反応したり、ゆっくり考えたりします。これを支えているのが「こころ」（精神活動）です。「こころ」とは、私たちの身体の中にあつて、私たちの毎日の活動を支えているものです。

「こころ」の病とは？

こころが病むとは、認知し、判断し、行動することの繰り返しですが、脳の障害や、ひどい疲れのために損なわれ、日常生活に影響が出ている状態をいいます。

「ストレス社会」といわれる現代は、本人の意思や努力に關係なく、場合によっては誰もが心の病にかかる可能性があることがあります。



精神障害と偏見

「こころの病」は誰にでも起こり得る、ふつうの病気です。しかし、長い間、人間らしさの根源である「こころ」が侵される「不治の病」と誤解されてきました。そのため本人も、家族や周囲の人も、相談や受診に抵抗を感じていました。その結果治療が遅れ、重症化を招いていました。

確かに「こころの病」に人生の途中で出会ってしまうと、それまでは普通にあつた社会生活や人間關係が、うまくできなくなることがあります。

しかし、正しい治療を受けて症状が落ち着いてくれば、糖尿病や高血圧のある人たちと同じように、病気と付き合いつつも、その人らしく、生き生きとした人生を送ることができるようになります。



まずここに相談しよう

心の病気の専門医とは、主に精神科医師のことをさします。

精神科というと偏見を感じる人がいますが、「他の人には手助けしてもらえない心の落ち込みを、すくいあげてもらおう」病院と認識しましょう。

●精神科

うつ病や神経症など、精神病を含む心の病気一般を診察します。

●心療内科

心身症を中心に、身体症状のあるうつ病や神経症などを診察します。

●神経内科

頭痛や手足のしびれなど、脳や神経系の異常を診察します。

●メンタルクリニック

心身症を含めた心の病気一般を診察します。

さわやかに揺れるコスモスの中を虫捕り網を手にしてとんぼを追いかける子どもたち……。

馬頭南保育園は現在、運動会に向けて子どもたちの元気いっぱいの声が庭に響いています。小さい子は、みんなに



見守られながら、大きな子のまねをしようと一生懸命で姿があります。大きな子は、年中・年長児としての自覚を持ち始め小さい子の面倒を見ながら仲間意識も深まっています。

また、庭のあちこちに花壇や菜園があります。子どもたちと種を蒔き、苗を植えました。葉の大きくなる様子、花や実のなる様子など、成長を観察しながら食する事は、知識だけでなく身をもって興味深い経験につながっていると思います。（とうもろこし・ミニトマト・かぼちゃ・オクラ・なすなど……）きゅうりのスティック味噌は、特においしかったようです……。

今度はさつまいも掘りを楽しみにしています。また、豊かな自然環境に恵まれた保育園の散歩コースの途中、堤防に並んで座り、那珂川に飛来した白鳥を、ながめることもあります。子どもたちの笑顔とともに癒されるひとときです。

集団生活で得られる体験や、友だちとのかかわりを通して社会性の芽を育んでいけるよう見守りながら、これからも保育の中に季節感を取り入れ、自然の豊かさに感謝し、のびのびと保育していきたいと思えます。

広報文芸

俳句

蝸牛生涯村を捨てられず
 火の山の空より青し濃竜胆
 塩梅も色合ひも良し樽の茄子
 祖父の影句作に力の極暑かな
 とんびの輪焦げんばかりの酷暑かな
 遅しい出穂一面の散歩道

松野 大高 松竹
 松野 大門 正一
 盛泉 大金 游水
 久那瀬 堀江 直子
 小川 金井 和子
 小川 桜山 華

短歌

入院より七十五日目の外泊に山積みの便りに目を通しをり
 幼き頃思ひ出でつつひぐらしに手を差し出せば尿散らしたり
 独唱に酔ひつつ浮かぶ面輪あり「カタリカタリ」は(情なき心)
 百歳の長きを生きて来し母は一匙食みてまたもまどろむ
 香炉峯の雪はなけれど簾かけて少し古典に近づく夏か
 聞き流すことで重宝した耳に面はゆいかな両手あてがう

小口 影沢 よし
 馬頭 五月女トミノ
 馬頭 (情なき心)
 馬頭 松原 幸雄
 小川 古沢 実
 吉田 塚原 タイ
 小川 平澤 照雄

川柳

諦めぬ老眼鏡の好奇心
 この田畑守る覚悟の束ね髪
 空読みの幼児天才かと思ふ
 花の名をひとつ覚えて友がふえ
 級友の顔をあだ名で思い出す

薬利 大嶮 克明
 大山田下郷 佐藤 有紀
 大内 郡司 正幸
 谷田 岡崎 甫子
 馬頭 松原悠起夫



新着図書

那珂川町 図書館

『八月の路上に捨てる』

伊藤たかみ／著(文藝春秋)
 暑い夏の一日、明日、僕は離婚届を提出する。若くして出会い、好きあって結婚し、お互い我慢して、でもいつの間にか少しずつずれていった。男女の価値観の違い、そして生活を囲む社会のひずみを軽やかに描き出す第百三十五回芥川賞受賞作。



『名もなき毒』

宮部みゆき／著(幻冬舎)
 直木賞受賞後第一作。
 財閥企業で社内報を編集する杉村三郎が、私立探偵・北見を訪れて出会ったのは、連続無差別毒殺事件で祖父を亡くしたという女子高生だった。宮部みゆき、三年ぶりの現代ミステリー。―あらゆる場所に、毒は潜む―



『おひるのアトル』

中川ひろたか／文 村上康成／絵(PHP研究所)
 らっこをだっこ。いもりのつもり。おしゃくにえしゃく。かいじゅうのたいじゅう。やかんからみかん。ダチヨウアチヨウ!
 味のあるユーモラスなイラストと、ゆかいな言葉あそび。楽しみながら言葉のおべんきょうができます。



- ◇『古代飛鳥「石」の謎』 奥田尚／著(学生社)
- ◇『美しい国へ』 安倍晋三／著(文藝春秋)
- ◇『世界の日本人シヨーク集』 早坂隆／著(中央公論新社)
- ◇『風林火山』 井上靖／著(新潮社)
- ◇『狐狸の恋』 諸田玲子／著(新潮社)
- ◇『ヘブンリー・ブルー』 村山由佳／著(集英社)
- ◇『電車大集合1338点』 広田尚敬／写真(講談社)
- ◇『うしろの正面』 小森香折／作(岩崎書店)
- ◇『うんてんするのはだあれ?』 レオ・ティーマース／作(フレールベル館)

平成19年度保育園入園申し込み

10月20日から受付いたします。(11月17日まで受付)
入所基準

保護者及び同居の家族(祖父母・おじ・おば等)が下記の理由によりお子さんを家庭でみるできない(保育に欠ける)と認められる場合のみ入所できます。

- ①昼間仕事をしている
- ②妊娠中または出産後間もない
- ③病気・けが・精神や身体に障害がある
- ④同居の親族を常時介護している
- ⑤災害等にあり、その復旧に当たっている

保育料

児童の父母等の前年分の所得税額、前年度分の町民税課税状況等により決定します。

入所申込受付場所

健康福祉課(本庁または小川支所)及び各保育園

必要書類

- ・保育所入所申込書
- ・就労状況調査書(児童と同居している65歳未満の方全員)

その他

申し込みが定員を超えた場合は、保育の必要性の高い順に選考し、希望する保育園に入所できない場合があります。

問い合わせ 健康福祉課児童福祉係
 ☎0287-92-1119

平成19年度幼稚園園児募集

対象児・定員

- ・3年保育課程(満3歳児)
 ひばり幼稚園 30名程度
 小川幼稚園 20名程度
- ・2年保育課程(満4歳児) 若干名

募集期間 10月20日(金)～11月20日(月)

通園範囲 那珂川町全域

保育時間 午前9時～午後2時30分
 (1日5時間30分)

保育料 月額 8,000円

申し込み・問い合わせ

- ひばり幼稚園 ☎0287-92-2301
- 小川幼稚園 ☎0287-96-2130
- 教育委員会学校教育課 ☎0287-92-2897

保育園臨時職員募集!!

採用期間 平成18年11月15日(水)から
 平成19年3月30日(金)

募集人数 保育士 1名

賃金 日額 6,800円

(その他詳しい勤務条件はお問い合わせ下さい。)

申込方法 町健康福祉課にある指定の用紙に必要事項を記入し、持参または郵送

申込期限 平成18年10月31日(火) 必着

申し込み・問合せ 健康福祉課児童福祉係
 ☎0287-92-1119

各保育園の入園定員一覧表

保育園名	馬頭中央 保育園	大山田 保育園	大内 保育園	馬頭北 保育園	馬頭南 保育園	小川第1 保育園	小川第2 保育園	小川第3 保育園
所在地	馬頭52-1	大山田下郷1798	大内3170	小砂835	富山213-1	小川2841	小川3056-3	谷田910-2
定員	120名	45名	60名	50名	45名	60名	60名	40名
電話番号	92-2202	93-0355	93-2557	92-0705	92-5480	96-2009	96-2074	96-4320
開所時間	平日	午前7時30分から午後6時まで (延長保育の場合午後7時まで)						
	土曜	午前7時30分から午後0時30分まで						
入所対象者	0歳児(6カ月以上)から小学校就学前まで		1歳児から小学校就学前まで					

那珂川町公園墓地 使用申し込み案内

町では、公園墓地の使用申し込みの受付を下記のとおり行います。

墓地の概要

- ・名称 那珂川町公園墓地
- ・所在 那珂川町馬頭2558-87
- ・区画 東第1段15号 1区画
- ・面積 6㎡
- ・使用料 450,000円
※使用料は、使用許可されたとき1回のみです。
- ・管理料 年2,500円
※管理料は、毎年納入になります。

使用者の資格

本町に住所を有する方

申し込み方法

使用許可申込書に必要事項を記入のうえ、住民生活課に提出してください。

申込書は、住民生活課にあります。

申し込み期間

10月20日～10月31日

使用者の決定

応募多数の場合は、抽選により使用者を決定します。

抽選日は、後日申込者に直接連絡いたします。

問い合わせ

住民生活課生活環境係
☎0287-92-1112

宇都宮東社会保険事務所 年金相談のご案内

毎週月曜日の受付時間の延長

(祝日の場合は翌日になります)

午後7時まで

10月2, 10, 16, 23, 30日

11月6, 13, 20, 27日

12月4, 11, 18, 25日

第2土曜日の年金相談

午前9時30分～午後4時まで受付

10月14日、11月11日

電話での年金相談は「ねんきんダイヤル」へ

0570-05-1165 (年金請求など)
0570-07-1165 (年金を受けている方)

自衛官2等陸・海・空士採用案内

試験日 平成18年10月21日(土)

受付期間 随時受付中

採用日 平成19年3月下旬予定

応募資格

満18歳以上27歳未満の男子

試験種目

筆記試験(国語・数学・社会(中卒程度)および作文)、口述試験、適性検査、身体検査

2等陸海空士説明会の案内

内容 陸・海・空自衛隊の概要説明、採用試験の概要説明

会場 大田原地域事務所

実施時期 平日午後1時から6時の間、随時個別に対応します。

問い合わせ

大田原市富士見1丁目3921
那須トラベル2階
自衛隊大田原地域事務所
☎0287-22-2940

平成19年版農業日誌等の 申し込み

農業日誌 1,400円
ファミリー日誌 1,400円
新農家暦 480円

ご利用の方は、10月24日(火)までに申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ

農林振興課
☎0287-92-2113
小川支所産業建設課
☎0287-96-2116



第54回精神保健福祉普及運動

10月23日(月)～10月29日(日)は「第54回精神保健福祉普及運動」期間です。

「こころの健康相談」

こんな事ありませんか。

- ・眠れない・気分が落ち込む・人間関係がうまくいかない。
- ・思春期の悩み(拒食・過食・閉じこもりがち等)
- ・中高年のこころの悩み(こころの疲労感等)
- ・アルコールによる問題

※知人などで困っている方にも、相談をお勧めください。

相談日 専門医(毎月1回予約制)

保健師 「第54回精神保健福祉普及運動」期間中は、10月27日(金)

その他は、随時。

場所 烏山健康福祉センター

☎0287-82-2231

わかります暮らしと社会の 未来地図

10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。

全国から抽出された約8万世帯を対象に、一日の生活時間の配分やインターネットの利用、学習・研究、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽などの生活時間について調査します。その調査結果は、国民生活の向上を図る各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

調査の対象となる世帯には、統計調査員が伺い調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力ください。

総務省統計局・栃木県

問い合わせ

栃木県統計課人口労働統計担当
☎028-623-2246

労働者、事業主の皆さまへ

「職場のトラブル、解決へのお手伝いを」（個別労働紛争解決制度）

栃木労働局では職場のトラブルでのお悩みの方の相談に応じ、迅速、簡単な手続き、無料で円満解決へのお手伝いをしています。

解雇や配置転換、賃下げ、セクハラ、いじめなど労使間のトラブルで悩んでいませんか？お気軽にご相談ください。

弁護士など法律の専門家が労使の間に入り、話し合いによる円満解決に向けたあっせんを実施しています。あっせんの申請は労使一方からの簡単な手続きで行えます。

詳しくは栃木労働局企画室総合労働相談コーナー（宇都宮市明保野町1-4宇都宮第2地方合同庁舎4階 ☎028-634-9112）及び宇都宮総合労働相談コーナー（宇都宮労働基準監督署内 ☎028-633-4251）へ

不正軽油撲滅強化月間

不正軽油とは、軽油引取税の脱税を目的に、灯油や重油などを混和する等して使用される自動車用燃料のことです。

不正軽油の製造、販売、利用に関わる者はすべて罰則の対象となります。

毎年10月は全国不正軽油撲滅強化月間です。不正軽油に関する情報をお寄せください。

問い合わせ

宇都宮県税事務所軽油引取税調査班「不正軽油110番」

☎028-626-3178

野鳥は「かごの鳥」じゃない！

許可を受けずにメジロやオオルリなどの野鳥を捕まえたり、その野鳥

を飼うことは違法行為です。

密猟は、野鳥が自由に生きる権利を奪うだけでなく、自然界のバランスを崩すことにも繋がる犯罪行為です。

違法行為をなくすには、皆さんの情報提供が必要です。不審な野鳥の捕獲行為を見たときは、下記までお知らせください。

南那須地区野生鳥獣捕獲・飼養連絡会
栃木県烏山林務事務所

☎0287-84-1155

那珂川町役場農林振興課

那珂川警察署

栃木県猟友会南那須支部

南那須養護学校
第3回学校見学会のご案内

栃木県立南那須養護学校では、障害児教育への理解と、認識を深めていただくため、学校見学会を開催いたします。

期日 10月12日（木）

午後3時～午後4時30分

場所 栃木県立南那須養護学校
（那須烏山市藤田1181-152）

対象 高等部就学対象者、教育委員会等関係機関

見学を希望される方は、事前に学校にお申し込み下さい。

問い合わせ

栃木県立南那須養護学校

☎0287-88-7571

第34回県北部地区特殊学級
児童生徒作品展覧会

県北の小中学校特殊学級・養護学校児童生徒の作品展覧会を開催します。どなたでも気軽にお越しください。

日時 11月19日（日）

午前9時～午後4時

11月20日（月）

午前9時～午後1時

場所 那珂川町総合体育館

問い合わせ

馬頭中学校（担当 小幡）

☎0287-92-2399

箒川圏域の河川整備計画原案について地域の皆さまからのご意見を伺います

栃木県では、地域の皆さまの意見を反映させた河川の整備及び維持に関する計画（河川整備計画）の策定作業を進めているところであり、箒川圏域の河川整備計画の原案がまとまりましたので、下記のとおり地域にお住まいの皆さまにご意見をお伺いします。

縦覧対象

箒川圏域河川整備計画原案

縦覧場所

栃木県土木部河川課

☎028-623-2438

栃木県烏山土木事務所企画調査部

☎0287-83-1316

那珂川町役場建設課

☎0287-92-1118

河川課ホームページ

<http://www.pref.tochigi.jp/kasen/index0.html>

縦覧期間

10月24日（火）～11月13日（月）

までの土日祝日を除く、平日午前9時から午後5時まで

（河川課ホームページでは、土日祝日でも随時縦覧できます。）

意見の募集期間

10月24日（火）～11月15日（水）必着

意見書の提出方法

上記縦覧場所に備え付けの用紙「河川整備計画原案に対する意見書」または、住所・氏名・匿名希望の有無を記載した電子メールにて提出してください。

意見書の提出先

上記縦覧場所に提出して頂くか、下記のいずれかの方法により提出してください。

郵送 〒320-8501（住所不要）栃木県土木部河川課 宛

FAX ☎028-623-2441

Eメール kasen@pref.tochigi.jp

第1回那珂川町福祉まつり

テーマ「みんなで創る優しいまち
～『こころ』かよう地域づくり～」
日時 10月21日(土)
午前9時～ 開会セレモニー
午前10時～午後2時30分
各種イベント開催
会場 小川総合福祉センター共生館
及び駐車場
内容 ふれあい広場／岡倉ゆかりミニコンサート、共同募金風船配布、映画上映、小学生ウォークラリーなど、模擬店／協賛団体における各種模擬店の出店〔食物販売・作品展示販売〕、介護相談コーナー／職員による相談コーナー〔ケアマネによる介護(保険)相談等〕、福祉機器展示・体験コーナー／福祉機器の展示と介護情報を発信する〔車イス乗車体験、高齢者疑似体験〕

栃木県立なす風土記の丘資料館の催し

第14回企画展

あづまのやまのみち

—那須の防人、広成の通った道—
東山道を通して、奈良時代の那須の人々の生活に迫るとともに国と国とを結ぶ「みち」について様々な視点からとらえます。
期日 9月16日～11月26日
時間 午前9時30分～午後5時
場所 湯津上館
企画展記念講演会・シンポジウム
日時 10月29日(日) 午前10時
会場 那珂川町ふるさと館
定員 80名
参加費 無料
講師 永田英明氏(東北大学学術資源研究公開センター) 木下実氏(那須烏山市教育委員会) 眞保昌弘(当館)
内容 「東山道」や「那須」が果たした役割について多角的に考えます。

東山道ウォーク

日時 11月5日(日) 午前8時30分
定員 30名
参加費 300円
集合場所 小川館
資料館周辺の東山道を歩きます

第9回烏山青年の家まつり

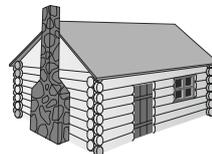
日時 10月29日(日)
午前10時～午後2時
会場 烏山青年の家
対象 県民の方
内容 アトラクション／和太鼓演奏、語り部、コンサート等、ものづくり／和紙細工、古代体験、ディンプルアート等、ゲーム／チャレンジランキング、風船つり等、フード／カレー、焼きそば、うどん、そば、おでん、ポップコーン、アメリカンドック販売／チャリティー・マーケット等
問い合わせ 烏山青年の家
☎0287-82-3142

木造りの家ノウハウ習得講座(木造住宅見学バスツアー) 参加者募集

建築中、完成後の木造住宅、木材市場等をバスで巡回し、木造住宅建築について実際に見て学ぶ講座です。木材アドバイザーなどの専門家が同行して、分かりやすく解説します。
開催日
県央地区 11月19日 宇都宮集合
県北地区 11月26日 矢板集合
募集人員 2地区とも先着50名
参加費 1人500円(昼食代)

○図書館へ
図書「わが心の山 霊峰男体山と私の健康法」
田名網忠吉様(佐野市)
図書「せんりゅう悠々句集」
松原悠起夫様(馬頭)
○社会福祉協議会福祉振興基金へ
十万円 露久保一夫様(大内)
千円 匿名

募集期間 10月15日～各開催日の7日前まで
申し込み・問い合わせ
栃木県木材需要拡大協議会
☎028-652-3687



栃木県最低賃金が10月1日より改正されました

栃木県最低賃金は栃木県内で事業を営むすべての使用者及び事業場で働く労働者に適用されます。

時間額 657円
ねえみんな、
この金額に目を留めて!

最低賃金について詳しくお知りになりたい方は、栃木労働局労働基準部賃金室(☎028-634-9109)または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

小川健康管理センターの「健康相談」時間延長のお知らせ

10月1日から定期的健康相談を月曜日と水曜日の週2回実施します。時間は午後1時30分から4時30分までです。子育てのことや健康に関すること等ご相談ください。

詳しくは広報とともに配布される「お知らせカレンダー」をご覧ください。また、電話相談もご利用ください。

問い合わせ 馬頭健康管理センター
☎0287-92-1188

寄贈



ありがとうございます
ございます

県内最古の文書資料

近年、「リサイクル」や「も

つたいない」という言葉が盛んに使われ、社会全体で資源を大切にす機運が高まっています。実は古代においても「紙の再利用」が行われていました。

「紙」は六一〇年に朝鮮半島の高句麗から僧曇徴によつて伝えられたとされています。とても貴重で、主に役所では戸籍や土地台帳などの帳簿類、寺院では写経などに使われました。これらの文書は一定の保存期間を過ぎると、文字が書かれた裏側にも一度文書が書かれ、新たな文書として活用されます。

また、文書として再利用されるだけではなく、漆を入れた容器のフタ紙として利用される場合もありました。これらの文書を「漆紙文書」といいます。漆が付着した部分のみが偶然腐らずに残ったもので、栃木県内でも栃木市の下野国府跡などで数多く出土し

ています。

那珂川町内では小川公民館近くに所在する上宿遺跡の竪穴住居から出土しています。上宿遺跡では他にも、漆片、漆が付着した麻布、容器などが出土しており、漆工房があったと考えられています。

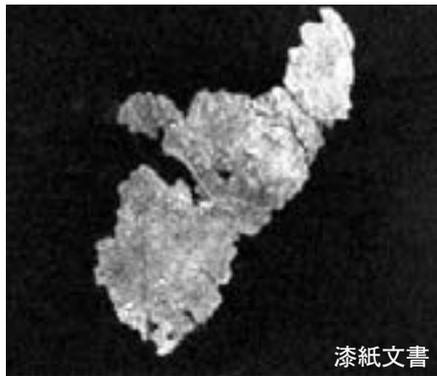
出土した漆紙文書のひとつに「高一尺 長／廣一尺四寸／五分／九横杖」(／は改行を示す)と記されているものがありました。「高」や「長」「廣」などの文字から大きさを記していると思われる、役所や寺院などで作成された備品台帳の草案と考えられています。

国の役所である下野国府跡から出土する漆紙文書は、「延暦」と記された延暦年間(西暦七八二〜八〇五年)のものが確認されています。一方、上宿遺跡の漆紙文書は八世紀中葉のものと考えられ、県内最古の文書資料といえるのです。これらの文書資料から

は、当時の地方社会の様子を文字によって知ることができ

ます。現在、上宿遺跡の漆紙文書は湯津上館で開催中の企画展「あづまのやまのみち」で展示しています。貴重な文書資料をこの機会には是非ご覧下さい。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 金子智美)



漆紙文書



赤外線写真

うぶごえ

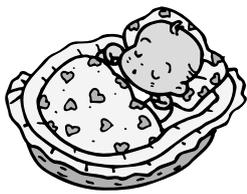
おくやみ

(氏名)	(父母の名)	(住所)
和地 啓斗	哲史	健武
小高 晃暉	弘行	和見
大金未陽菜	康幸	小口
滝田 鈴夏	哲也	小口
大金 莉奈	邦博	大内
小室 敬太	誠	小川
小林 菜月	崇志	三輪

(氏名)	(年齢)	(住所)
和久井武己	(90)	健武
大金もと子	(73)	矢又
田代 春吉	(80)	和見
武隈 年春	(60)	小口
谷田 一雄	(80)	小口
谷田 良才	(81)	小口
平塚 清	(93)	久那瀬
船森 キミ	(91)	久那瀬
佐藤 ツギ	(81)	富山
菊池 末吉	(80)	大田上郷
池澤 金	(74)	小砂
村井 十一	(71)	小川
星 スガ	(89)	小川
境谷 クラ	(74)	東戸田
星 實	(59)	薬利
佐原 浅吉	(92)	浄法寺
小室 キチ	(95)	浄法寺

平成18年8月21日
平成18年9月20日受付分
※掲載は希望者のみです。

(敬称略)



10月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	10,072人 (-13)
女	10,114人 (-12)
計	20,186人 (-25)
世帯数	5,978 (-2)

()内は前月との比較

広報
Koho Gallery
展示室

第13回

開館6周年記念特別展

「広重を生んだ画派 歌川派の時代展」前期

唱歌「螢の光」中の「わがしのおん」。小学生の時には、意味も分からず頭のなかでは平仮名のまま、唄っていませんでしたか？ 恥ずかしながら私もそのクチです。全国にはこれを「和菓子之恩」と「翻訳」している子どもも少なくないでしょう。

今回ご紹介するのは、歌川広重の師匠、歌川豊広（1774? - 1861）の肉筆画です。品川の御殿山へ花見に来た二人の美人を描いています。たおやかな白い指先にも表情が宿り、女性の楚々としたたずまいを感じさせる作品です。

実は広重、当初は豊広の兄弟弟子にあたる豊国（役者絵で大人気の浮世絵師でした）の下に入門しようとしたのですが、弟子があまりに多いため、入門を断られてしまったというのです。そのあと、に豊広に入門を乞うたとの逸話が残っています。豊広は、役者絵はあまり描かず、本の挿絵や肉筆画、墨摺絵といった分野で活躍していました。豊



歌川豊広「御殿山花見図」絹本着色 東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives Source:<http://TnmArchives.jp/>

国のような派手さはないけれども、着実な人気を保っていた絵師です。

世に迎合せず、堅実で我が道を進んでいるような彼の作品を見ていると、広重も豊広の下だからこそ伸びた才覚があったのだと思わずにいられません。となると、現在、広重がこれほどまでに有名なのも、豊広先生のおかげ。

なにせよ、我が師にしても和菓子にしても、恩は忘れないようにしたいものです。

※この作品は開館6周年記念特別展「広重を生んだ画派 歌川派の時代展」前期（～10月29日）に出品されています。

（那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 津田 卓子）

自然の温もりを描く

身近に咲く草花を、アクリル絵具を使って、木材や石に描く作品が多い高堀三枝子さん（久那瀬）。

芸術の秋を身近に感じさせてくれる素朴な温もりが、伝わってきます。今は、来年の展示に向けて新作を制作しているところです。

「たんぽぽ」ケヤキ 縦60cm 横50cm



ミニ
ギャラリー



「フシと曼殊沙華」サクラ 縦30cm 横90cm